

緊急校長メッセージ – 「まん延防止等重点措置」について –

その行動は大丈夫？ あなたの自覚ある行動が、自分を、仲間を、家族を守ります

昨年から続く新型コロナウイルス感染症との戦いは、高齢者の方々へのワクチン接種が始まっても拡大傾向が続き、本日（4月20日）から大型連休をまたいだ3週間をめぐり、愛知県に「**まん延防止等重点措置**」が適用されることとなりました。

特に最近では、感染力の強い変異種が拡大に拍車をかけており、新規陽性者に占める10代の若者の割合が高いことが統計上明らかとなっています。

「**コロナ慣れ**」による若者の無防備な行動と変異種の出現で、知らず知らずのうちに大切な家族、とりわけ高齢の方や基礎疾患をお持ちの方をコロナウイルスに感染させてしまったり、若者自身が重症化したりする危険性は昨年よりも増しており、重い後遺症に苦しむ事例も数多く報告されています。

生徒のみなさん、大型連休をまたぐ5月11日までの期間中、特に次のことに留意してください。

1 お弁当は「黙食」「前向き」で

このウイルスは、飲食のタイミングをねらって人体に侵入しようとしています。学校生活のなかで特に感染リスクの高い行動は、「向き合って」「おしゃべりしながら」「時間をかけて」食事をとることで。お昼は、「**黙って**」「**机を寄せず**」「**前を向いて**」食事をするよう心がけてください。

2 着替えは「静かに」「すばやく」

このウイルスは、人の油断につけこんで人体に侵入しようとしています。登下校中や教室では十分気を付けていても、体育授業や部活動などの運動時はマスクをとることも多いため、着替えの場面では注意が必要です。特に部活動前後の部室では、「**近距離・マスクなし**」の会話を避けるため、「**静かに**」「**すばやく**」着替えて、部室にいる時間を短くするよう心がけてください。

3 外出の機会を減らす（カラオケ、会食はガマンする）

このウイルスは、人流（人々の流れや動き）に乗って移動するため、不特定多数の人との接触が大好物です。気候もよい季節となりましたが、不要不急＝「**必要ではない、今でなくてもよい**」外出を控えて、大型連休中は基本的に家ですごすようにしてください。また、学校のある日は、「**寄り道をせず**」、少しでも**早く帰宅する**ようにしてください。

カラオケは、「三密」の環境下で長時間大きな声を出し、飲食を伴うことも多いことから、特に感染リスクの高い行動と言えます。今月も県立高校の生徒11人がカラオケを利用して集団感染（クラスター）が発生しています。**自分や仲間、家族が大切なら、「カラオケに行こう」とは誘わないこと、誘われても「今はやめておこう」とお互いブレーキをかけること**を心がけてください。

イギリスやイスラエルなどワクチン接種が進んだ国々では、収束に向けた明るいきざしが見えてきたとの報道もあります。明けない夜はありません。やまない雨もありません。今は「**うつらない・うつさない（ウイルスを運ばない）**」ことをあなたの最大の使命として生活してください。

令和3年4月20日

知らないうちに、拡めちゃうから。



愛知県立瀬戸高等学校

校長 丸山 洋生